

はしがき

■編集の趣旨

本書は、『徹底20日間マスター』シリーズの一冊として、高校三年生を主な対象に、一日に見開き二〜三ページずつの学習を積み重ねることにより、二十日間で大学入試に対応できる漢文の実践力を養成することを意図して編集しました。

■特色と利用法

- 1 最近の国公立大学・私立大学の入試問題の中から、実力養成にふさわしい素材を二十題精選し、ほぼ易から難へと配列してあります。
- 2 設問は、センター試験及び私立大学入試に多く出題される客観問題と、主として国公立大学二次試験に出題される記述問題のいずれにも対応できるように配慮しました。そのため適宜設問に手を加えています。
- 3 自己診断テストとして活用する場合のことを考えて、解答書き込み欄を設けたほか、実践練習用として解答所要時間を示しました。必ず制限時間内に解答を書く訓練をして下さい。また、各設問の下に五〇点満点での配点を示しました。
- 4 《別冊解答書》について
 - a 【解答】のほかに、【出典】【要旨】【書き下し文】【現代語訳】、全設問についての詳細な【解説】で構成し、自学自習の際にも疑問が残らないように努めました。随時参照して、誤答の原因を突き止め、完璧を期して下さい。
 - b 【書き下し文】の漢字にはすべて歴史的仮名遣いで振り仮名をつけました。また、読みやすくするために、単語と単語の切れ目が分かりにくい箇所には少しスペースを設けてあります。
 - c 問題本文・設問に出現した句形を再確認するため、シンプルな問題形式でまとめた【句形の整理】を各学習日ごとに設けました。

二〇一四年七月

編著者

目次

第1日 貞観政要	4	第11日 北窓炙輿録	24
第2日 冥祥記	6	第12日 十八史略	26
第3日 列女伝	8	第13日 莊子	28
第4日 三事忠告	10	第14日 韓非子	30
第5日 呻吟語	12	第15日 黠鼠賦	32
第6日 侍漏院記	14	第16日 春秋左氏伝	34
第7日 韻語陽秋	16	第17日 曲洧旧聞	36
第8日 与微之書	18	第18日 答陳商書	39
第9日 春秋左氏伝	20	第19日 与元九書	42
第10日 能改齋漫録	22	第20日 管子	45

月 日 曜日

●次の文章を読んで、後の問に答えよ。ただし、設問の関係で送り仮名を省いたところがある。

貞観初、太宗謂蕭瑀曰、朕少好弓矢、自謂能尽其妙。近得良弓十数、以示弓工。工曰、皆非良材也。朕問其故。工曰、木心不正、則脈理皆邪。弓雖剛勁、而遺箭不直。非良弓也。朕始悟焉。朕以弧矢定四方、用弓多矣。而猶不得其理。況朕有天下之日、淺、為治之意、固未及於弓。弓猶失之、何況於乎。

■語句■
 貞観 年号。六二七〜六四九年。
 太宗 唐の第二代皇帝、李世民。弓矢が得意で戦上手であった。
 蕭瑀 唐の臣下。太宗などに仕えた。
 朕 ここでは太宗の自称。
 木心 木のしん。
 脈理 木のもくめ、すじみち。
 遺箭 矢を射る。
 以弧矢定四方 弓矢で四方を平定する。

5

問一 傍線部①の現代語訳として適切なものを次の中から一つ選べ。

- 〈7点〉
- 私は若いころ弓矢を好んで、その巧妙な精神を得たと思っていた
 - 私は若いころから弓矢を好み、その妙技を極めたいと思っていた
 - 私は若いころ弓矢を好み、その妙技を極めたと思っていた
 - 私は少しだけ弓矢を好み、それでも妙技を得たと思っていた
 - 私は少しだけ弓矢を愛し、修練して妙技を体得したと思っていた

問二 傍線部②について、工が「皆非良材也」と言った理由として適切なものを次の中から一つ選べ。

- 〈7点〉
- 良弓には違いないが、その木材がよくないから。
 - 良弓ではあるが、矢をまっすぐに射ることができないから。
 - 木の芯がまっすぐではなく、木目が曲がっているから。
 - 木の芯はまっすぐではなく、木目はよくても矢はうまく射ることができないから。
 - 木の芯も曲がり木目もゆがみ、矢をまっすぐに射ることができないから。

問三 傍線部③「朕始悟焉」について、太宗が悟った内容として適切なものを次の中から二つ選べ。

- 〈7点×2〉
- 若いころから弓矢を好んで用いていたのに、弓の良し悪しもよくわからなかった。
 - 若いころから弓矢を好み、その妙技と精神を体得できたから、四方の国々を平定できたのだ。

3 若いころから少しだけ弓矢を好んでいたにもかかわらず、弓の良し悪しはよくわかっていた。

4 天下を治めて浅い自分でも、弓矢の精神をもって天下を治めることはできるのだ。

5 弓矢の修練と天下を治めることとの関連性は大きいのだ。

6 弓矢の妙技を体得しても、国の政治に生かせるものではないのだ。

7 天下を治めて日の浅い自分は、若いころから習熟した弓矢に比べれば誤りを犯しても仕方ないのだ。

8 弓矢には習熟していると自負していたのに、弓の良し悪しも見誤るのだから、政治において日の浅い自分が誤るのも当然なのだ。

9 長年弓矢を用いてきたが、弓矢の良し悪しすらわからない上に天下の治め方も誤るのだからどうしようもない。

問四 傍線部④「四方」とほぼ同じ意味で用いられている語を文中から抜き出して記せ。

問五 傍線部⑤「固未及於弓」の理由を主語を補って記せ。

問六 空所⑥に入れるのに適切なものを次の中から一つ選べ。

- 治
- 弓
- 四方
- 弓矢
- 天下